

技術ノート KGTN 2019060701

現象

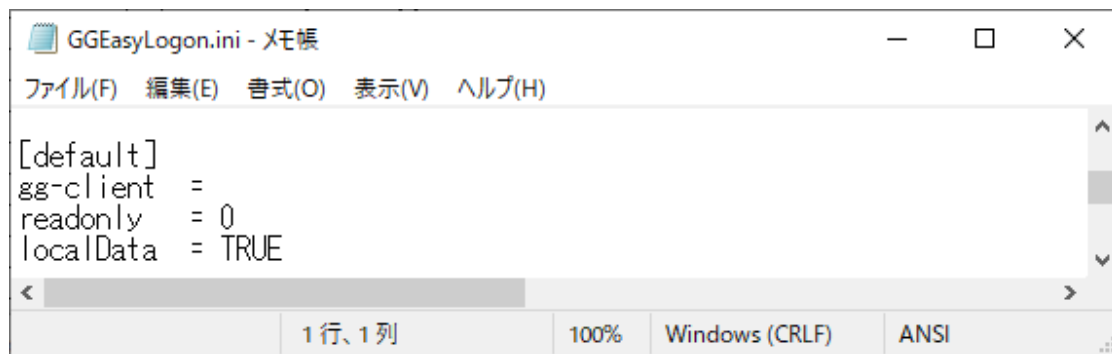
[GGH5.X-6.X] GGEasyLogon バージョン 6.3.0 は、どのような点が変わったのか？

説明

バージョン 6.2.3 からの変更点は次の通りです。

・ユーザー毎の設定ファイルの保持

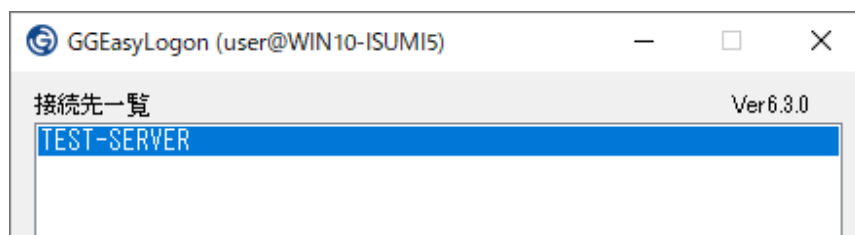
GGEasyLogon.exe と同じフォルダーにある設定ファイル GGEasyLogon.ini の default セクションで localData = YES が指定されると、各ユーザーが初回起動した時にフォルダー %APPDATA%\%kitASP へ設定ファイルがコピーされ、以降このコピーされた設定ファイルが使用されます。この機能により、ユーザー毎に接続情報を保持することが出来ます。



```
[default]
gg-client =
readonly = 0
localData = TRUE
```

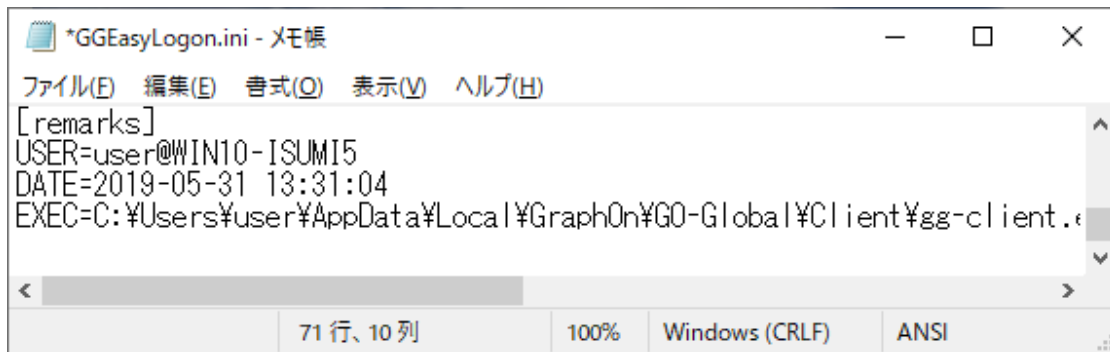
・設定ファイル情報の表示

設定ファイルが複数存在するようになることから、ウインドウのタイトルに (<ユーザー名>@<ドメイン名>) という情報を付加して表示するようにしました。これにより、使用している設定ファイルがどのユーザーのものか分かります。なお、この情報が表示されない場合は、GGEasyLogon.exe と同じフォルダーにある設定ファイルが使用されています。



•接続記録の保持

設定ファイルのセクション **remarks** に、最後に接続したユーザー名、日時、コマンドラインが記録されます。この記録は、ユーザー毎に設定ファイルに保持されている場合に限りです。



```
*GGEasyLogon.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[remarks]
USER=user@WIN10-ISUMI5
DATE=2019-05-31 13:31:04
EXEC=C:¥Users¥user¥AppData¥Local¥GraphOn¥GO-Global¥Client¥gg-client.€
71行、10列 100% Windows (CRLF) ANSI
```

Last reviewed: Jun 07, 2019

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2019 kitASP Corporation